

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

2月

【県内全域】

脱退希望者が多くなってきた。

【県内全域】

4月期の政府売渡し麦価が14・

8%の引き上げとなった。しかし最

近2年間で約59%上昇した原料に

対し、製麺品への価格転嫁が不十

分なままである。

【千葉・東京都】

前年に比べロットが小さくなっ

た。売れ筋がわからないので生産

をストップしているところも多い。

【県内全域】

取引先で1社廃業があった。組

合では、受託商品の長期在庫や売

れたもので長期未取りのものが

多くなっており、施設の有効活用

のため整理を進めている。

【県内全域】

需要も業種により大幅に減少し

ているが、一部の民需や官公需は年

度末に向けて仕事が増え動き始

めている。但し電子入札等により

受注競争は大変厳しいようだ。

2月は幸いにして県内業者の倒

産はなかったが、この景況で廃業を

考える企業の声が聞こえる。

【県内全域】

景況は悪化の一途を辿っている。

今年度の見込みも大巾に下方修正

し、来年度はさらに大巾減の予測

で見直しが立たず、賦課金も大巾

な収入減の見込みである。

【県内全域】

このところ月ごとに悪化してき

ており、先の景況が不明なために

経営方針の策定が困難である。

【千葉】

高炉メーカーの大巾減産にみら

れるように、メンバー企業各社と

も受注の落ち込みが続いている。

特に建設機械、IT関連、自動車

関連が大きく影響を受けている。

【野田】

受注量が激減、生産調整や雇用

調整に苦慮している。

組合では、金融や雇用等の施策

情報を収集・発信し、組合員にそ

の利用を促している。

【県内全域】

我々業界は海岸埋立てを中心と

する公共事業が主であるから、経

済危機の中でどのくらい公共事業

が見込まれるかに掛かっている。

【県内全域】

3月から本格的に羽田拡張工事

用として、山砂(クッション砂)の

搬入が開始された。

【富津市他】

各組合員とも景況悪し。現在は

自動車業界のみならず、飛行機業

界にも波及している。

【千葉市他】

酪農経営者の廃業が増えている。

【県内全域】

ダイベロッパーの倒産や極端な経

営悪化に伴い、物件減少と連鎖倒

産懸念が広がる。会社整理の為

脱退する組合員が1社ある。

【県内全域】

入荷台数の減少。素材価格の低

下により利幅がさらに減少し、赤

字状況になっている。2月に2社脱

退希望があった。

【相模原市】

業種を問わず売上げ不振である。

衣料品はもちろん、飲食店も客数

が減っている。

【県内全域】

好調だった液晶テレビも落ち込

んできている。また、5名の脱退が

あった。

【大網白里】

低調な状態が続く。テナントの

撤退が多いようだ。

【県内全域】

深刻なタマ不足に加え、直販動

向や輸出の手ごたえが上昇モード

の気配を示してきたが、先行き

は不安感もただよう。

【東金】

消費低迷が続いている。空き店

舗対策、組合員の資金繰りが課題。

【野田】

食料品は、売上げ及び集客に貢

献しているが、衣料身の回り品・

家庭文化雑貨・飲食は厳しい状況。

【県内全域】

食は経済性志向と安全性志向。

業界としてこのニーズにどう対処

するかが課題である。

【県内全域】

年度末が近づくと、脱退する組

合員の連絡が増えてきている。

【習志野】

1月末に飲食組合員が閉店。

【銚子】

非常に悪い。仕入先の間屋が倒

産した。

【野田】

2月に会社更生手続開始申立を

行った会社が1社ある。

【県内全域】

景況は依然として厳しいが、事

務所別には格差が生じている。

【鴨川】

4〜1月の乗船客の対前年比は

95%だった。先行き不安だ。

【千葉】

前月に比べると、若干ではある

が仕事量は増えている。

【県内全域】

2月までは受験という足かせが

あるからか、この経済危機でもそ

れほど影響がなかったが、3月の新

規募集時からはどうなるかわから

ない。

【県内全域】

受注量の大幅な減少により、本

年度の組合運営も大変厳しい状況

にある。

【県内全域】

4月以降の見通しがかたない。

【県内全域】

業界は相変わらず資金繰りが厳

しい。

【野田】

前例の無い貨物量の低下である。

荷主であるメーカーも厳しい現実

だと思いが、運送業もそれ以上に

厳しい状況が続いている。

【県内全域】

組合員で民事再生法を申請した

企業が1社。負債額は114億円。